

# キャリア教育全体計画（2026年入学生） 全日制

## 1 全体目標

○ 様々な社会現象や地域活動をグローバル・ローカルの2つの視点から正確に理解・分析する力や、地域の課題を主体的・協働的に解決する力を養う。更に、多様な人々と良好なコミュニケーションを図り、社会貢献できるグローバル・ファシリテーターとしての総合力を育成する。

## 2 現状・課題

本校のキャリア教育は主に課題研究と国際交流を中心とした探究学習と高大接続を目的とした学問分野の研究や出前授業など HR を中心とした進路学習が担っている。探究学習と進路学習を有機的に結びつけ、多くの教員がかかわることで生徒のキャリアに対する知識の深化と選択幅の拡大にむけて取り組んでいる。担任の負担軽減につながる体制の整備や取り組みのさらなる充実、OBOG 人材の有効活用が課題であると考えられる。

## 3 つけたい力

- a 有意義な高校生活を送るための基本的な生活習慣と確かな学力。
- b 社会的自立に向けて自己の向上を図るとともに、円滑な人間関係を主体的に構築することのできる力。
- c 自己理解を深めるとともに、様々な職業について広く研究し、社会と自分との関わりについて考える力。
- d 希望する進路の実現に向け、自らの課題を的確に設定し、効果的に解決する力。
- e グローバル・ファシリテーターに求められるコミュニケーション能力及びチーム形成力。

## 4 内容

| 指導項目   | 指導方針〈対応する項目〉   |
|--|--|
| ①自己の在り方、生き方を考え、社会参画の意識を醸成する                    | ア 学校の教育活動全体をキャリア教育との関連の中で位置付け、指導を進める。〈①～④〉   |
| ②仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む                    | イ 3年間を見据えた教育活動を計画し、相互に連関を持つよう研究する。〈①～④〉<br>ウ 総合的な探究の時間、講演会は、レポート提出等によって、身に付いた力の確認を絶えず行い、以後の取り組みや指導に生かす。〈①～④〉 |
| ③様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促す                     | エ 幅広い知識と視野を身に付け、社会における自己の在り方について考える。〈②～④〉  |
| ④卒業後の進路を選択し、職業を通してどう社会と関わり、どう生きたいのかを構想し続ける力を育む | オ 将来、社会の中でどのように自己実現と社会貢献を実現するかを考え、その上で、いま「学ぶ」ことの意義を考える。〈①～④〉   |

| 指導場面等     | 指導計画・キャリア教育の視点等〈実施学年〉   |
|-----------|---|
| 教科の授業     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の事象や問題を様々な教科の視点から捉え、自分の問題として考えられるようにする。</li> <li>・ICT の効果的な活用を推進するとともに、話し合いやグループ発表など協働的な学びを充実させ、他者の意見を理解し、共有する授業形態を恒常化していく。</li> <li>・SDGs に関わるテーマなど多様なテーマに基づいた教科横断的な学びを導入し、深い学びの実現を図る。</li> </ul>  |
| 総合的な探究の時間 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「長野のグローバル戦略を探る」において、地域課題研究に必要なローカルな視点と基礎スキルを学び、フィールドワークを通して探究を進める。〈1年〉</li> <li>・「世界から見た長野のグローバル戦略」において、グローバルな視点も取り入れつつ課題を設定し、フィールドワーク等を通じて探究を深める。〈2年〉</li> <li>・「グローバルアカデミア」において、学びの個別最適化を図るとともに、グローバルな視点から3年間の課題研究の成果を具体的・効果的な政策提言にまとめる。</li> <li>・キャリアデザインの視点から自身の進路研究分野の課題図書を選び、レポートにまとめ提出する。〈3年〉</li> <li>・職業研究、学部学科研究、文理選択研究、大学研究などを行い、レポートにまとめ提出する。〈3年〉</li> </ul> |
| 特別活動      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭、運動会、音楽会、クラスマッチなどの学校行事を通して主体的に人間関係を構築し、自己の育成を図る。</li> <li>・研修旅行やその事前学習を通して、文化や歴史、人間についての知見を広める。</li> </ul>   |

|                      |  |
|----------------------|--|
| 校外の体験活動<br>(就業体験活動等) | ・フィールドワーク(1年、2年)<br>・就業体験、オープンキャンパス、大学研究室訪問への参加<br>・大学訪問(1年、2年)  |
| 地域や産業界等との連携          | ・コンソーシアムと協働した講習会、ワークショップ(1年、2年)<br>・フィールドワーク(1年、2年)、就業体験(医療系など)<br>・進路講演会(OB招聘、分科会形式)(1年、2年)               |
| 評価                   | ・レポート提出や面談を通じて、生徒の取組や諸活動の意義を評価し、次年度の改善に活かす。<br>・校内で実施する生活実態調査の活用。  |
| 中学校との連携<br>(指導の継続性)  | ・公開授業や学校説明会等において学校の取組を積極的に発信する。<br>・中高教頭会、中学校との連絡会等で情報交換を行う。   |
| 校内の推進体制              | ・キャリア教育係(主任、各学年担当)を中心に全職員が協力して行う。<br>・学年と進路係が連携して進める。<br>・グローバル教育推進室を中心にNGP(長野・グローバル・プロジェクト)関連科目の企画、立案を行う。 |
| キャリア・パスポートの取組        | ・学習活動における自己の取組を記録に残して常に振り返ることで、ステップアップの足場にするるとともに、探究活動を深化させる手段として活用し、進路選択に向けた自己の軌跡として蓄積する。                 |

## 5 学年別指導計画

|      | 1年  | 2年   | 3年   |
|------|---|--|--|
| 目標   | ○「長野のグローバル戦略を探る」の探究活動を通して、ローカルな視点から地域課題を的確に設定する力や、積極的に改善をおし進める力を涵養する。<br>○将来の自分の人生のあり方や、働くことの意味について考える。<br>○自分の希望や適性を考え自己理解を深め、職業について研究し、職業観を育てる。 | ○「世界から見た長野のグローバル戦略」の探究活動を通して、グローバルな視点も取り入れた探究を進め、課題解決に向けた具体的な企画・提案を行うことをめざす。<br>○円滑な人間関係構築と切磋琢磨する集団の一員となる自分作りに努める。<br>○自己実現のための情報収集を通し、ライフプラン作成を深める。<br>○学部学科の研究を通して現状の課題等を認識し、一層の自己理解を図る。 | ○自らの進路と社会とのつながりについて理解し、キャリアデザインを通じた自己実現と具体的な社会貢献について考える。<br>○1, 2学年時のキャリア教育を元に、志望校を研究し、進路実現を図る。<br>○自身の進路研究分野の図書を読みレポートにまとめることを通して、進路意識を高め、進路実現の方策を探る。 |
| 主な取組 | ○フィールドワーク<br>○進路講演会(OB招聘、分科会)、大学訪問<br>○米国研修<br>○就業体験(医療系、法学系など)   | ○フィールドワーク、実験観察<br>○就業体験(医療系など)<br>○オープンキャンパス参加<br>○学部学科研究  | ○就業体験(医療系など)<br>○オープンキャンパス参加<br>○進路講演会   |
| 評価   | ・面接、レポート<br>・生活実態調査   | ・面接、レポート<br>・生活実態調査  | ・面接、レポート<br>・生活実態調査  |

### 年間指導計画と各取組の関連

|    | 教 科                                      | 総合的な探究の時間                             | 特別活動等                                    | その他(面接・評価等)                 |
|----|--|---------------------------------------|--|-----------------------------|
| 1年 | (記入例)・共生社会と福祉(家庭)<br>・ともに生きる社会を目指して(公民)  | 福祉社会における私たちの役割を考える<br>特別養護老人ホーム訪問(交流) | 特別養護老人ホーム訪問に向けて(講話及びホームルーム活動)            | ポートフォリオを用いた自己評価             |
|    | 4  | ・課題研究基礎スキルを学ぶ<br>・課題の設定               | ・運動会<br>・クラスマッチ<br>・文化祭準備                | ・生活指導講話<br>・個人面談<br>・生活実態調査 |
|    | 夏 国語：評論を通して「自己」とは何かを考える                  |                                       | ・キャンパスツアー、大学研究室訪問<br>・ボランティア活動、医療体験(希望者) | ・三者面談                       |
|    | 9 家庭：「親子をめぐる社会環境」「社会的支援」                 | ・研究調査<br>・フィールドワーク<br>・フィールドワークのまとめ   | ・クラスマッチ<br>・音楽会<br>・進路調査                 | ・生活実態調査<br>・個人面談            |
|    | 12                                       |                                       |  |                             |
|    | 1 歴史総合：日本がどのように豊かになってきたか、その問題点が何であるかを考える | ・課題研究中間発表会の準備、発表会                     | ・進路講演会<br>・進路研究<br>・米国研修                 |                             |
|    | 春 休                                      |                                       | ・ボランティア活動、医療体験(希望者)<br>・学校学習             |                             |

|        |         |   |  |  |  |
|--------|---------|---|--|--|--|
| 2<br>年 | 4<br>7  | <ul style="list-style-type: none"> <li>国語：評論を通して、社会について自分の考えを発展させる</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>課題研究計画</li> <li>研修旅行事前学習</li> <li>ゼミ形式の課題研究</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>運動会</li> <li>クラスマッチ</li> <li>文化祭準備</li> </ul>                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>個人面談</li> <li>生活実態調査</li> </ul> |
|        | 夏<br>休  | <ul style="list-style-type: none"> <li>英語：副読本でグローバリズムについての考えを発展させる</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>フィールドワーク</li> <li>課題研究の実験、観察</li> <li>大学学部学科研究</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>オープンキャンパス参加</li> <li>大学研究室訪問</li> <li>ボランティア活動、医療体験（希望者）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>三者面談</li> </ul>                 |
|        | 9<br>12 | <ul style="list-style-type: none"> <li>英語キャリアプロジェクトⅡ：情報化社会の進展と社会への影響を考える</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>フィールドワークのまとめ</li> <li>課題研究発表会準備・発表会</li> <li>科目選択研究</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>クラスマッチ</li> <li>音楽会</li> <li>台湾研修旅行</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>生活実態調査</li> <li>個人面談</li> </ul> |
|        | 1<br>3  | <ul style="list-style-type: none"> <li>保健：社会生活と健康について考察し、ライフスタイルを考える</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>課題研究の論文作成</li> <li>大学入試研究</li> <li>1年の振り返り・3年次の課題設定</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>進路講演会</li> <li>進路研究</li> </ul>                                      |  |
|        | 春<br>休  |   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校学習</li> </ul>   |  |
| 3<br>年 | 4<br>7  |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>課題研究計画</li> <li>進路研究課題図書レポート</li> <li>課題研究発表会の準備、発表会</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>運動会</li> <li>クラスマッチ</li> <li>文化祭準備</li> <li>進路研究</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>個人面談</li> <li>生活実態調査</li> </ul> |
|        | 夏<br>休  |   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>学習合宿</li> <li>オープンキャンパス参加</li> <li>ボランティア活動、医療体験（希望者）</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>三者面談</li> </ul>                 |
|        | 9<br>12 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>小論文研究</li> <li>大学研究</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>共通テスト試験科目について</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>個人面談</li> </ul>                 |
|        | 1<br>3  |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>進路決定振り返り</li> </ul>   |  |  |